

一般社団法人雲伯福祉会

令和7年度島根県障がい福祉
分野の介護テクノロジー導入
支援事業（ICT導入支援）
事業報告

一般社団法人雲伯福祉会

事業所概要

サービス種別	計画相談支援、障がい児相談支援
所在地	安来市
職員数 ()内は常勤換算数	5名（1. 9名）
事業所の特徴	特定相談支援、障がい児相談支援を実施し、ソーシャルワークを基本とした本人や家族の支援を行っています。

一般社団法人雲伯福祉会

ＩＣＴ導入前の背景・目的

導入前の状況

事務作業の負担

会計ソフト、給与計算ソフトを利用しているが、事業所内で処理を行わなければならない。業務上、利用者宅やサービス提供事業所に行くことが多く、訪問先での開いた時間については令和5年度（令和4年度からの繰越分）障害福祉分野のＩＣＴ導入モデル事業にて導入したパソコン・テザリング機能付携帯電話を利用してサービス等利用計画やモニタリング報告書などを作成しているが、会計ソフトや給与計算ソフトについてはクラウドでの運用になっておらずスタンドアローン型ソフトで運用しており他の端末でそれらのソフトを利用することが出来ない。同様の機能を持つクラウド型ソフトでは年間保守料が大幅に増えてしまい事業所での導入は難しい。

一般社団法人雲伯福祉会

ICT導入前の背景・目的

導入の目的

事務作業のリモート化

ノート型パソコンと職場のデスクトップパソコン（会計ソフト、給与計算ソフトが入っているパソコン）を遠隔コントロール可能なソフトを導入して、外出先でもそれらのソフトを使うことが可能にする。

一般社団法人雲伯福祉会

導入機器

導入する I C T の検討

- ノートパソコン
- パソコン遠隔コントロールシステム

導入した I C T

- ノートパソコン
- パソコン遠隔コントロールシステム

一般社団法人雲伯福祉会

効果検証

	導入前（時間）	導入後（時間）	削減率（%）
・ 職員間の情報伝達 ・ 情報共有	月 20時間00分	月 14時間00分	30.0 %
・ 請求業務 ・ 勤怠管理 ・ 給与業務等	月 40時間00分	月 26時間40分	33.3 %
主な要因	外出先等で空いた時間を有効活用することによる時間の短縮を図ることが出来た。		